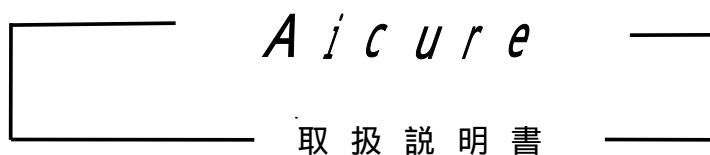


紫外線硬化装置



品番 ANUP4104

パナソニック電気株式会社
制御デバイス事業部

大阪府門真市大字門真1048
TEL ; 06 - 6903 - 5129
FAX ; 06 - 6908 - 0628



注意

ご使用の際は、本取扱説明書をお読みの上正しくご使用下さい。

目 次

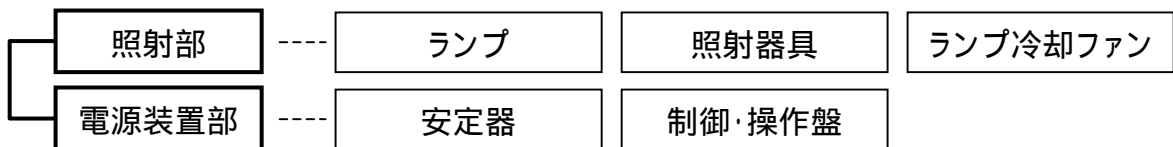
1. 概 要	1
2. 構 成	1
3. 仕 様	1
4. 各部の調整方法	2
1) ランプ取付方法	
2) ランプ冷却風量及びファン作動時間の調整	
3) 照射距離の調整	
4) ワーク冷却風量の調整	
5. 操作方法	4
6. 安全回路	5
7. 主要部品	6
8. トラブル時の処置	8
9. 装置図面(仕様図面)	
10. 電気回路図	

1. 概要

本装置はワークに塗布されたUV樹脂(インキ・接着剤・塗料)に、UVランプから出る紫外線を効率良く照射し素早く硬化するための紫外線(主波長 365nm)硬化装置です。ランプは棒状石英発光管で、ランプからの紫外線を効率良く反射集光するミラーにより高強度の紫外線を照射することができます。

2. 構成

本装置の構成は次の通りです。



3. 仕様

添付の装置図面(仕様図面)をご参照ください。

4. 各部の調整方法

4-1 ランプの取付け方法

1) まずランプハウスを開き、器具が見えるようにします。

ダイクールフィルター付の場合は取り外してください。

2) きれいな手袋かガーゼを用いてランプを取り付けてください。

【注意】ランプが汚れていたり、素手でランプに触った時は、アルコールできれいに拭いてください。

3) ランプ取付けはランプ碍子部がV溝にはまるように器具の中央にセットし、写真のようにバネで碍子部を押さえる様に固定してください。



【注意】ランプ中央の突起部(へそ)を反射鏡に当てないよう反対側になるようにセットしてください。反射鏡に触れてランプが割れる恐れがあります。

4) ターミナルにランプリード線を固定してください。

4-2 ランプ冷却風量及びファン作動時間の調整

1) ランプ冷却風量の調整は、ランプ冷却ファンのダンパーで行ってください。

ダンパーは通常全開で使用します。ランプ電圧計の針がグリーン表示域よりもかなり下がる場合は少しずつダンパーを絞って調整してください。

(ランプが古くなるとランプ電圧がグリーン表示域よりも下がってきますので、その場合はランプを交換してください。)

【注意】ダンパーを絞り(最大半分まで)過ぎると器具や冷却ファンを焼損しますので充分注意してください。グリーン表示域以下で長時間使用していると1年以内で安定器が焼損します。

2) ランプ冷却ファンは点灯後、約60～90秒で作動するようにタイマー〔TR1〕で設定しています。ランプ冷却ファンは点灯開始時、立ち上がりを早くするため作動させていません。電圧計の針がグリーン表示域の下限付近で作動するように調整します。

【注意】ランプ冷却ファンの作動開始が遅れますと、器具を焼損しますので充分注意してください。

3) ランプ冷却ファンは消灯後約3分で停止するようにタイマー〔TR2〕で設定しています。

4-3 照射距離の調整

- 1) 照射距離の調整はランプハウス部のツマミネジをゆるめて調整してください。
(重い場合がありますので手を挟まないように注意してください。)
- 2) 照射距離(ワーク表面よりランプ中心までの距離)は、アルミ反射鏡の場合・・・110mm
ダイクールミラーの場合・・・130mm
を目安にして、ワーク高さに応じ設定してください。

4-4 ワーク冷却風量の調整

- ・ワーク冷却風量は照射BOX背面のスライド板にて調整してください。

5. 操作方法

運転

1) 電源を入れる。

ブレーカー ON

ランプ冷却ファンが数分間作動します。
ファンの作動確認を行ってください。

2) ランプを点灯する。

ランプスイッチ ON

【注意】ランプ消灯後、再点灯する時はランプが完全に冷えないと点灯しません。

タイマー設定時間(約60秒)後、
ランプ冷却ファンが自動運転

ランプ点灯の確認は電圧計で行います。
点灯の時……電圧計の針が徐々に上昇
不点の時……電圧計の針が急上昇し、
グリーン表示域をオーバー

硬化(乾燥)作業開始OK

電圧計の針がグリーン表示域内に入ると作業開始OKとなります。

通常運転

1) シャッター

シャッターの開閉スイッチは必ず閉側にしておいてください。
準備完了ランプが点灯しているか確認してください。

2) 扉を開ける。

3) ワークを入れる。

4) 扉を閉める。

5) 照射スタートスイッチを押す。

あらかじめ照射時間の設定をしておいてください。
自動的にシャッターが開き、タイマー設定時間分だけ照射後、再びシャッターが閉じます。

【注意】扉を閉じている場合のみシャッターは開閉スイッチにより開閉が可能です。またワーク冷却ファンは任意に使用出来ます。

停止

1) ランプを消灯する。

ランプスイッチOFF

タイマー設定時間(3分)後ランプ冷却ファンが自動停止します。

2) 電源を切る。

ブレーカー OFF

【注意】ランプ冷却ファンの停止を確認後、電源を切ってください。

減光

1.5KW以上のみ

本装置は調光機能を装備しています。減光スイッチを入れると約75%に調光しUVランプの出力を抑えることができます。

シャッター

・手動の時はシャッター開閉スイッチにより動作します。

6. 安全回路

インターロック

照射BOXの扉にはリミットスイッチが設けてあり、扉が開いているとシャッター開きません。

冷却ファン異常

ランプ冷却ファンの異常で電流サーマルが作動すると制御回路が遮断されUVランプ及びその他の動作は停止し異常表示されます。

本体温度異常

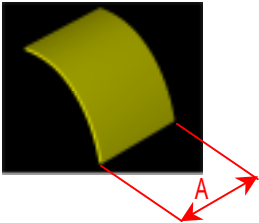

排気不足などで本体が異常過熱されると本体の温度サーマルが作動し、制御回路が遮断されUVランプはOFFになり異常表示されます。

異常解除

異常を解除する場合は電源をOFFにし、それぞれの異常を取り除いた後、電源をONにしてください。電流サーマルが作動した時は、サーマルリレーのリセットボタンを押します。温度サーマルの時は冷えるまで待ってください。

7. 主要部品

品名・外観図	品番	使用個数	メーカー
UVランプ 	ANUL10081 高圧水銀ランプ 1KW(80w/cm)	1	パナソニック電気株式会社 制御デバイス事業部
電圧計 	ANUHP300VRXP	1	パナソニック電気株式会社 制御デバイス事業部
冷却ファン 	ANUHP8Z-D3	1	パナソニック電気株式会社 制御デバイス事業部
安定器 	ANUHP102HK2	1	パナソニック電気株式会社 制御デバイス事業部
照射器具 	ANUHP0152-51	1	パナソニック電気株式会社 制御デバイス事業部
ターミナルセット 	ANUHP0251-13	2	パナソニック電気株式会社 制御デバイス事業部

品名・外観図	品番	使用個数	メーカー
<p>ダイクールミラー</p> 	ANUHP0252-1(A寸法 90mm)	4	パナソニック電気株式会社 制御デバイス事業部
<p>ダイクールフィルター (オプション)</p> 	ANUHP0152F-3 (サイズ125 × 150 × 3t)	1	パナソニック電気株式会社 制御デバイス事業部

8 - 1 . トラブル時の処置

トラブル状況	確認事項・処置
<ul style="list-style-type: none"> ・ランプが点灯しない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電源は入っていますか？ 受電表示ランプを確かめてください。 ・ランプは取りついていますか？ ランプリード線が接続されているか確かめてください。 ・消灯直後に再点灯していませんか？ ランプが冷却されてから再点灯してください。 ・インターロックが働いていませんか？ 安全回路の項で確認してください。 ・ランプ寿命がきていませんか？ ランプを交換してください。
<ul style="list-style-type: none"> ・漏電ブレーカONで漏電ブレーカが落ちる。 ・ランプを点灯させたら漏電ブレーカが落ちる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電源ケーブルにつぶれるている箇所がありませんか？ ケーブルを交換してください。 ・電源ボックス内にホコリや異物などありませんか？ 電源ボックス内の清掃をして下さい。 ・器具ケーブルにつぶれるている箇所がありませんか？ ケーブルを交換してください。
<ul style="list-style-type: none"> ・安定器のうなり音がする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安定器の寿命がきていませんか？ 安定器を交換してください。(使用条件、使用環境で異なりますが一般に安定器の寿命の目安は7～10年です)
<ul style="list-style-type: none"> ・装置が高温になっている。 ・器具内のミラーや金具が変形して破損する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ランプ冷却ファンは正常に回転していますか？ ・工場側排気ダクト接続されている場合は、空気が吸い込まれているか、抵抗がかかり過ぎていないか、確認してください。 排気ダクトを外した時の温度と比べてください。 ・装置内への空気取り入れ口がふさがれていませんか？
<ul style="list-style-type: none"> ・UV強度が低い。 (未硬化になる) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミラーが汚れていませんか？ 変形していませんか？ ミラーの汚れを拭きとるか、交換してください。 ・UV強度計測器は校正されていますか？ 校正を行ってください。 ・ランプ電圧がグリーン表示域よりかなり下がっていませんか？ 各部の調整方法の項を参照してください。 ・ランプ寿命がきていませんか？ ランプを交換してください。

8 - 2 . トラブル時の処置

トラブル状況	確認事項・処置
<ul style="list-style-type: none">・シャッターが動作しない。・シャッターが完全に閉まらない、または開かない。	<ul style="list-style-type: none">・照射BOXの扉が開いていませんか？・リレー接点が溶着していませんか？ リレーを交換してください。・シャッターモータが焼損していませんか？ モータを交換してください。・シャッター開閉のリミットスイッチが破損していませんか？ リミットスイッチを交換してください。